

岡山市 新しい文化芸術施設整備シンポジウム 「劇場でまちが変わる、まちを変える」実施報告

I 実施概要

1. 趣 旨

岡山市では、岡山市民会館・岡山市立市民文化ホールに代わる新しい文化芸術施設の整備を進めております。このシンポジウムでは、新しい文化芸術施設の整備がこれからの岡山のまちづくりや賑わいの創出にどのようなつながっていくのかを考えてもらうとともに「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画（骨子案）」の説明とこれに対するパブリックコメント募集の周知を目的に開催しました。

2. 日 時 平成 28 年 2 月 11 日（木・祝） 13 時 30 分～15 時 30 分

3. 場 所 岡山市民会館 4 階大会議室

4. 来場者 市民 50 名

5. 次 第

- (1) 開会（進行：草加叔也（(有)空間創造研究所））
- (2) あいさつ（市民生活局長）
- (3) 基本計画（骨子案）概要版及びパブリックコメントについて説明（文化振興課長）
- (4) パネリストによるプレゼンテーション
- (5) 3人のパネリストによるクロストーク
- (6) 質疑
- (7) 閉会

II パネリストプレゼンテーション及びクロストーク

1. 藤村 順一氏（兵庫県立芸術文化センター 副館長）

開館から10年を迎えた兵庫県立芸術文化センターの活動について発表いただきました。開館前の準備段階以来19年もの長きに亘り、館の運営に関わっておられる立場から、「奇跡の劇場」と評されることのある兵庫県立芸術文化センターが評価されたのは、決して奇跡によるものではなく、「世界に開かれ地域に愛される劇場」を目指して、どのような活動を積み重ねてきたのか、地域との関係性をどのようにつくってきたのか、など貴重な経験に基づいたお話がありました。



2. 徳田 恭子氏 (NPO 法人まちづくり推進機構岡山 代表理事)

岡山のまちづくりの活動をされている視点から、市民が意見を発し、関わっていくことの重要性や、岡山市がより活性化して賑わい、歩いて楽しいまちとなるために新しい文化芸術施設が果たす役割などの話がありました。

金沢市にある 21 世紀美術館が、美術館に入らずとも人が集まっている施設であるように、新しい文化芸術施設も舞台芸術や音楽に興味がない人もたくさん集う施設になってほしい、とまとめられました。



3. 五島 朋子氏

(岡山市「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画検討懇談会」座長／
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 教授)

鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった小学校と幼稚園を劇場に変えて、2006 年から演劇活動をしている「鳥の劇場」の活動についてのお話がありました。教育や福祉と連携した事業展開、地域とのつながり、またそのつながりにより生まれた活動の広がり、地域に劇場があることの意義、専門家がいて創造活動が行えることのメリット、劇場と地域の間をつなぐコーディネーター役の存在などについて、画像を交えた発表がありました。



4. クロストーク

地域と劇場の関わりについて、兵庫県立芸術文化センターも鳥の劇場も、芸術監督や主宰者が周辺地域に出向き、話をしたり、イベントを行ったりといった行動を重ね関係性を築いていったこと。情熱を持った人や、役所と芸術家・専門家をつなぐ役割の人が必要ということ。岡山市の整備予定地近隣には市役所、商店街、ホテルがあるなど、大変恵まれたポテンシャルをどう活かすかなど、多方面にわたるディスカッションが行われました。



5. 質疑

「今後、施設のハード、ソフトともに具体的に決めていく中で、地域の人たちはどのように関わっていくのがよいのか」といった質問があり、パネリストから「それぞれの意見や考えをたくさん言えばよい。実現出来ることには限りがあるので、そのとおりにならないものも多いが、どのようなニーズがあるのか伝えることが重要」、「社会にどのように関わりたいのか、地域をどのように変えたいのかを考え、だからこうしてほしい、という自分の思いでたくさん発言することが肝要」といった回答がありました。

■パネリストプロフィール（※五十音順）

五島 朋子（ごとう ともこ）

長崎県生まれ。鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授。

九州大学大学院修士課程工学研究科建築学専攻修了。専門はアートマネジメント。老朽化した市民会館の活性化事業や、劇団制作などに携わった経験を踏まえ、現在は、地域における劇場の役割の多様性、社会的な課題に積極的に取り組む劇場や演劇活動についての調査研究を行っている。

徳田 恭子（とくだ きょうこ）

岡山県生まれ。NPO法人まちづくり推進機構岡山代表理事。染色家。

染色家として30年以上に亘って創作活動を続けるかたわら、地域の文化芸術振興事業、表町をはじめとした市街地区域のまちづくり活動に尽力している。中山間地域の活性化のため、地域おこしの商品開発などを支援する県中山間地域協働支援センター長も務める。岡山市芸術祭実行委員長。岡山市「市民会館・市民文化ホールのあり方検討会」委員。

藤村 順一（ふじむら じゅんいち）

兵庫県立芸術文化センター副館長。

兵庫県生活文化部等を経て、兵庫県立芸術文化センター開館（平成17年）前の平成9年、事務局長に就任。（公財）兵庫県芸術文化協会業務執行理事も務める。